

議会活動の評価について

★平成31年3月1日（議会改革諮問会議）

住民から見える「議会活動の評価」に関する答申 →

①町民を対象とした無作為抽出によるアンケート調査を行う。

②特定の町民等を対象とした調査を行う。【町民等が理解しやすい評価方法を検討し、議会活動について客観的評価を行う。】

①への対応

●令和2年4月（アンケート調査実施）

●令和2年7月（議運での分析を経て議会だよりで公表）

▽議会だよりが広報の中心と捉え、モニター会議等のテーマに設定するなど議論を進め、編集企画会議の設置、委員による委員会活動報告ページの執筆等の改善を実施中。

②への対応

●令和2年9月17日（議運において、専門的知見を活用するため、外部に協力を依頼することを決定）

●令和3年3月26日（北大公共政策大学院において、山崎サポーターと協議）

●令和3年4月22日（オンラインによる協議を行い、その後、北大公共政策大学院の授業に位置付けられる）

●令和3年5月14日（議運において北大公共政策大学院との関係を報告。同日、最初の授業にオンライン参加（議長・事務局）し、テーマとなる内容をプレゼン）

●令和3年7月16日（議員オンラインインタビュー 議運・事務局）

●令和3年11月7～9日（来町。町民インタビュー、中間報告（議運対応））

※進捗状況を共有するものであるが、中間報告であるため議会内資料としての取り扱い

●令和4年1月～2月

北大公共政策大学院から最終報告（提案）

●令和4年2月～

最終報告を踏まえて議運を中心に評価方法を検討・決定

●令和4年 月

評価実施

●令和5年 月

評価結果公表